

製品名: NDUFV3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14521**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	NDUFV3 NDUFV3; NADH dehydrogenase [ubiquinone] flavoprotein 3; mitochondrial; Complex I-9kD;
別名	CI-9kD; NADH-ubiquinone oxidoreductase 9 kDa subunit; Renal carcinoma antigen NY-REN-4
遺伝子 ID	4731.0
SwissProt ID	P56181
免疫原	抗血清はヒト NDUFV3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 26-75

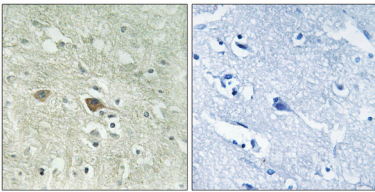
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、NADH-ユビキノン酸化還元酵素複合体を構成する少なくとも 41 のサブユニットのうちの一つです。この複合体はミトコンドリア呼吸鎖の一部であり、ロテノン感受性の NADH の酸化とユビキノンの還元を触媒します。コードされるタンパク質は、複合体のフラビンタンパク質分画に含まれる 3 つのタンパク質のうちの一つです。コードされるタンパク質の具体的な機能は不明です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見ついています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: ミトコンドリア膜呼吸鎖 NADH 脱水素酵素 (複合体 I) の補助サブユニットであり、触媒作用には関与しないと考えられています。複合体 I は、NADH から呼吸鎖への電子伝達に機能します。この酵素の直接電子受容体はユビキノンであると考えられています。類似性: 複合体 I NDUFV3 サブユニットファミリーに属します。サブユニット: 複合体 I は 45 の異なるサブユニットで構成されています。これは、酵素のフラビンタンパク質硫黄 (FP) フラグメントの構成要素です。

研究分野

酸化的リン酸化、アルツハイマー病、パーキンソン病、ハンチントン病、

画像データ



NDUFV3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。